

TAKE  
FREE

地方独立行政法人  
三重県立総合医療センター  
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER

vol.90  
2022年夏号

# 医療センターニュース



特集 / 産婦人科

## 大里和広医師インタビュー

安心して出産できる三重県を目指す

## 竹内紗織医師インタビュー

女性の病気・悩みを支える

news

就任のあいさつ

脳神経外科医 亀井医師の

「The Best Doctors in Japan 2022-2023」



# 安心して出産できる三重県を目指



当院では、産科救急・婦人科救急を含む産婦人科全般にわたる診療に対応しており、地域の女性の皆さんが安心して受診いただけるように、日々取り組んでいます。昨年度より特に力を入れている母子搬送の受け入れに励む大里医師と令和4年1月から当院へ新たに着任された竹内医師にお話を伺いました。

## どこにいても安心して出産ができるように

三重県内の多くの病院は、三重大学医学部附属病院と密に連携を取っています。これは他県では見られない珍しい状況で、三重大学医学部附属病院が中心となり、県内のどこに居住していても同じような医療が受けられるように県全体の医療の底上げに取り組んでいます。

特に産婦人科においては、県内の8つの病院がオンラインでつながるカンファレンスを毎朝行い、他の病院と症例を共有することにより勉強できるとともに、発表者としてのスキルを磨くことに役立っています。私自身も妊婦さんが県内のどこに居住していても安心して出産できるよう、産婦人科としての役割を全うしたいと考え、その実現に向け、当院において母体搬送※の受け入れを強化しました。例えば妊婦さんが予期せぬ時期に産気づいた場合でも、近隣病院との連携を密に行うことにより、母体搬送の急な受け入れに備えています。

まずは「断らない医療」の実践に努めることとし、さらには、当院での受け入れが不可能な場合に備えて普段から近隣病院との交流を持ちながら、スムーズな搬送・受け入れに努めています。

※**母体搬送**：妊娠中や分娩時に母体、胎児の状態が悪化したり、悪化することが予測される場合、母児の安全を図るために母体を高次医療機関に搬送を行い、集中的な管理を行う方法。





す

診療部長 兼 産婦人科部長 兼  
地域周産期母子医療センター副センター長

おおさと かずひろ

大里和広 医師

また、母体搬送に加えて、ハイリスク分娩にも積極的に対応しています。高齢妊娠や合併症などの妊娠リスクが高い妊婦さんにも安心して出産していただけるように全力を尽くします。三重県は以前、周産期の死亡率が低い都道府県で1位※となったこともあります。引き続き安心して出産できる県と言っていただけのように、本院としても貢献していきたいと考えています。

※2019年（令和元年）に出生前後で死亡した新生児の割合「周産期死亡率（年間の出産数でわり千人当たりで換算したもの）」において、全国47都道府県で最も低い2.0人（厚生労働省の人口動態調査、全国平均3.4人）を記録。

### 本院の実績

	令和2年度	令和3年度	前年比
分娩件数	284件	297件	13件増
内ハイリスク分娩	115件	168件	53件増
母体搬送数	23件	45件	22件増



## 新たな取り組みとチャレンジ

### 外来予約システム

令和4年4月より、外来予約システムをスタートしました。従来は、外来で受付をした順番で診察を行い、2時間以上の待ち時間が発生していることも多々ありました。そのため妊婦さんの体調を考慮し、クリニックからの紹介状がある方には予約枠を設けました。待ち時間を短縮することで少しでも通院時のストレスを軽減できるように心がけていますので、ぜひご活用ください。

※外来予約システムご利用希望の場合は、かかりつけ医にご相談ください。

### 胎児診断センター

出生前診断を行う機械の導入を予定しています。これまで総合病院で診断しているところは少なかったのですが、早期に胎児の病気などの発見につなげることができ、出産後の新生児治療をスムーズ行えるという大きなメリットがあると考えています。

## 医療の適切な役割分担

全ての患者さんを一つの医療機関に集約させる必要はないと考えています。例えば地域にも産婦人科のクリニックはいくつもあり、中には出産は対応していないが産科として妊婦さんを診ていただけたところもあります。そこでは産前の相談から産後のフォローなども対応可能であり、自宅から近いため妊婦さんの体力面からも安心して検診などに通っていただけます。

このように地域のクリニックと総合病院ではそれぞれに異なった役割があります。ローリスクの場合は地域で、ハイリスクの場合は病院でというように医療の中で適切な役割分担を行いつつ、気持ちは一つにして地域の患者さんの安全・安心に努めていきたいと考えています。

女性の病気・  
悩みを支える



婦人科

たけうち

さおり

竹内紗織 医師

### 婦人科におけるロボット手術の運用

婦人科では平成30年4月よりロボット手術が保険適用となり、当院では良性疾患の子宮全摘手術で実施しています。手術の際、傷跡は隠れた部分になりますが、患者さんから「できるだけ傷口が目立たないようにしてほしい」という要望をいただくことがあります。そのため整容性に優れており、かつ身体に負担の少ないロボット手術でできる限り対応していきたいと考えております。他にロボット手術を取り入れるメリットとしては、例えばガスで腹腔内を膨らませて手術スペースをつくる腹腔鏡手術とは異なり、ロボット手術では器具で腹腔内を支えてスペースをつくるため、お腹周りの脂肪が厚い方に適しています。

また3Dカメラや鮮明に見えるパネルを用いることで細かな出血箇所にもいち早く気づくことができるため、出血量が少ない傾向があります。これらのメリットを総合的に勘案すると、やはり婦人科におけるロボット手術の導入を進めるべきだと感じます。

### 子宮脱手術の推進

子宮脱は、骨盤の底を支えている靭帯や筋肉が緩むことにより子宮や膀胱が下がって膣が飛び出してくる病気で、多くは下がった子宮を支えるために膣内にリングを挿入した治療を行っています。しかし、リングだけで完全に子宮脱をコントロールするのは難しい現状があり、当院では、腹腔鏡下仙骨膣固定術という手術治療を行っています。これは子宮と膣にぬいつけた手術用メッシュを仙骨に固定することによって臓器を固定させる治療です。

子宮脱は、特に立ちっぱなしや重い物を持つ仕事、出産回数が多い方、肥満の方などに発症する可能性が高いです。しかも、10人に1人は発症すると言われていますが、「下の病気のことではずかしい」「老化現象であり病気だと思っていなかった」「治療できると思っていなかった」などの理由で受診をしていない方も多いと思いますが、お悩みの方はぜひ一度、お気軽にご相談ください。





## 他の医療機関との連携

日頃から、地域の医療機関を含め他の医療機関と、文字通りの「顔見知りの関係」を意識しており、連携を強化しています。例えば当院の婦人科へ受診いただき、悪性腫瘍が発見され腹腔鏡もしくはロボット手術が必要になった患者さんには、三重大学医学部附属病院を紹介し治療を受けていただいています。日頃からの関係性によりスムーズな対応が可能となり、術後患者さんが当院に戻ってこられた後のフォローも滞りなく行うことができます。

三重県内の婦人科は、三重大学医学部附属病院が中心となり特に密な関係性ができていますので、他の医療機関と連携しながら患者さんを支えています。

## 婦人科のハードルを限りなく低くし、 受診しやすい環境に！

婦人科と聞くと、どうしても受診していただくハードルが高い方が多いと思われれます。例えば過多月経、月経困難症で悩まれている方に対して、月経をコントロールすることでQOL(生活の質)向上につなげるために使用する治療薬があります。一般的に「ピル」といわれる薬と同じ効果の薬ですが、「ピル」という単語を耳にされただけで「避妊目的だ」と思われ、残念ながら受診に至らないケースがあります。

また年に1回は受けていただきたい子宮がん検診も、諸外国に比べて日本は圧倒的に受診率が低く、わずか3割程度です。羞恥心や痛みなどのハードルは高いかもしれませんが、「経血量が多いだけ」など些細なことと自己判断せず、ぜひ気軽に婦人科を受診いただくことを心からお待ちしています。



News

## 就任のあいさつ

### 令和4年4月より 看護部長に就任いたしました 江川伸子と申します。

今年度より大役を引き継ぎ、重責に身が引き締まる思いで日々を過ごしています。

看護部では「気付き・対話・協調・笑顔」を理念に掲げ、患者さんへの笑顔を忘れず、思いやりの気持ちを持ち、安全と安心、信頼を高める看護を提供していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



### 令和4年4月より 中央放射線部技師長に就任いたしました 刀根淳也と申します。

当院の放射線技師は26名在籍しており、患者さんの健康を願って、全員が力を合わせて高度で身体に負担の少ない低侵襲的な放射線診療を展開しています。検査の内容や放射線の被ばくなど、不安や疑問について親切丁寧にお答えしますので、お気軽に私たちにお声かけください。どうぞよろしくお願い致します。



News

## 脳神経外科医 亀井医師の 「The Best Doctors in Japan 2022-2023」

当院の脳神経外科部長の亀井裕介医師が「The Best Doctors in Japan 2022-2023」に選出されました。ベストドクターの選出基準は、医師に対して「自己、または家族の治療を、自分以外に誰に委ねるのか」という観点から、他の医師の評価を伺うことが進められ、医療の最前線で活躍している経験豊富な医師のみが選出されます。

これからも、地域の皆さんにより安全で質の高い医療をご提供できるよう誠心誠意努めてまいります。



## 🕒 休診のお知らせ

令和4年8月1日現在

👁️ 眼 科

9月9日(金)

🚽 泌尿器科

9月9日(金)

👂 耳鼻いんこう科

9月22日(木)、10月31日(月)、  
11月29日(火)、12月28日(水)

👃 乳腺外科・乳腺外来

10月27日(木)、10月28日(金)

三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。





# 外来診療医師担当表

令和4年8月1日(月)現在

診療科	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診	樂 家	秋 山	西 田	小 林
	初診・再診	感染症外来 白木	血液・血栓外来 和田	白 木	消化器内科(再診) 白木
消化器内科	初診	森 谷	井 上	山中/水谷	西浦/島田
	再診	井 上	森 谷	菅	山 中
	再診	島 田	水 谷		中 嶋
循環器内科	初診	増 田	加 藤	増 田	林
	再診	加 藤	中 澤	谷 垣 内	牧 野
	再診				
※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、島田が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科金曜日の3診は、菅が第1週・第3週・第5週を担当し、中澤が第2週・第4週を担当します。					
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	吉田(紹介診)	増 田	藤 原
	再診	後藤(初診)	三木(初診)	児 玉	三 木
		寺 島		後 藤	吉 田
※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)					
消化器・一般外科		1診/横 江	1診/家城(1・3・5週)/篤村(2・4週)	1診/尾 嶋	1診/毛 利
		2診/尾 嶋		2診/山 本	2診/辻 浦
		3診/毛 利		3診/横 江	
小児外科		2診/内 田		内田(14:00～)	
乳腺外科	予約診/野呂(1・3週)/山下(2・4・5週)	3診/山 下		3診/山 下	2診/野 呂
				予約診/乳腺外来(野呂)	予約診/乳腺外来(山下)
形成外科			石浦(午前)/粗野(13:30～15:30)		
※第1週目は休診です。 ※粗野が最終週以外を担当し、石浦が最終週を担当します。					
心臓血管外科/呼吸器外科		1診/近 藤	1診/新 保	1診/澤田(1・3・5週)/田邊(2・4週)	1診/澤 田
		2診/庄 村	2診/鈴木		2診/田 邊
脳神経外科		1診/黒 田	1診/後 藤	1診/寺 島	予約診/担当医
		2診/亀 井			1診/梅 田 2診/亀 井 午後予約制/脊椎脊髄外来
脳神経内科		1診/伊 藤	1診/伊 藤	1診/掃部/伊藤	1診/堀江/稲葉
			2診/掃 部	2診/西 垣	2診/稲葉/堀江
※1診が初診、2診が予約診です。 ※水曜日の1診は、掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の1診は、堀江が第1週・第3週・第5週を担当し、稲葉が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の2診は、稲葉が第1週・第3週・第5週を担当し、堀江が第2週・第4週を担当します。					
小 児 科		1診/杉 山	1診/西 森	予約/太 田	1診/太 田
		2診/山 口	2診/太 田	予約/杉 山	2診/西 森
		3診/小 林	3診/小 林	予約/大 森	3診/大 森
産婦人科		4診/栗 原	4診/濱 野	時間外・紹介/小林/西森/鈴木	4診/荻 野
		1診/大 里(初診)	1診/手 嶋(初診)	1診/古 橋(初診)	1診/竹 内(初診)
		2診/古 橋	2診/朝 倉	2診/河 村	2診(午前)/朝倉 2診(午後)/1ヶ月検診
		3診(午前)/浪 崎 3診(午後)/母体胎児診断	3診/担当医	3診/竹 内	3診/たんぼぼ(助産師)外来
整形外科		4診/たんぼぼ(助産師)外来			4診(午前)/担当医
		1診(午前)/北尾(紹介 膝、肩)	1診(午前)/北尾(膝関節外来(再診))	1診(午前)/奥山(再診)	1診(午前)/奥山(紹介、初診)
			1診(午後)/北尾(再診)	1診(午後)奥山(再診)	
		2診(午前)/柿本(紹介、初診)	2診(午前)/服部佳生(紹介、初診)	2診(午前)/服部徹也(紹介、初診)	2診(午前)/寺田(リハ、初診)
皮膚科			2診(午後)/柿本(再診)	2診(午後)服部徹也(再診)	
		3診(午前)/服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)/柿本(リハ、再診)	3診(午前)/服部佳生(リハ、再診)	3診(午前)服部佳生(再診)
			3診(午後)/寺田(再診)	3診(午後)服部佳生(再診)	
泌尿器科		1診/中西(真)	1診/加 古	1診/加 古	1診/中西(丈)
			午後/褥瘡回診	午後/手術	
		1診/神 田		1診/宮 地	1診/松 浦
	予約診/松 浦		予約診/神 田		1診/田 端
	予約診/宮 地		予約診/田 端		予約診/渡 邊 予約診/松 浦
※火曜日は、第1週、第3週、第5週のみ					
眼科	1診/佐 宗	1診/佐宗(午後休診)	1診/佐 宗	1診/佐 宗	1診/佐 宗
耳鼻いんこう科	1診/鈴 村	1診/鈴 村	1診/鈴 村	1診/鈴 村	1診/鈴 村
精神科	1診/山 下	1診/山 下	1診/山 下	1診/山 下	1診/山 下
放射線科	1診/間 瀬	1診/野 本	1診/高 田	1診/佐 貫	1診/南 平

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。

地方独立行政法人  
三重県立総合医療センター  
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER  
TEL.059-345-2321 (代表)

### 一 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

#### » 基本理念

1. 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

#### » 基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
3. 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

### 一 臨床研修基本理念・基本方針

#### » 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

#### » 臨床研修基本方針

1. 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
2. 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
3. チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
4. 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
5. 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和4年7月／発行号  
〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132  
TEL. (059) 345-2321 (代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>  
表紙：診療部長 兼 産婦人科部長 兼 地域周産期母子医療センター副センター長 大里和広医師 写真  
[令和4年5月25日(水)撮影]  
婦人科 竹内紗織医師 写真  
[令和4年5月27日(金)撮影]

ホーム  
ページ



交通のご案内



三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>